

令和7（2025）年度入学者選抜の実施に係る第2次公表（予告）について

2025年度入学者選抜を次のとおり実施予定です。追加、変更は、随時ホームページにて通知します。

1 基本方針

山口県立大学が定めた「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」に基づき、「学力の3要素」である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

2 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 国際文化学部のアドミッション・ポリシー

2025年度の改組を検討中。詳細が決まり次第公表予定。

(2) 社会福祉学部 社会福祉学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

誰もが幸せに暮らせる社会の実現について他者とともに語らい、自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や社会に関心があり、他者を理解し共感しながら福祉社会の実現のために貢献しようとする意欲がある。

<入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表>

入 試 種 別	選 抜 方 法	一般選抜					学校推薦型選抜				
		前期日程			後期日程		県内高校枠			地域貢献人材発掘枠	
		大学入学 共通テスト	面 接	小論文	大学入学 共通テスト	面 接	面 接	調査書	面 接	活動報告書	
素 点		600	400	100	600	500	200	50	200	100	
評 価 の 比 重 (*1)		55	36	9	55	45	80	20	67	33	
評価の観点	《知識・技能》	○	○	○	○	○	○	○	○		
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○		
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○	○		○	○	○	○	○	

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(3) 看護栄養学部 看護学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、看護の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

人をとりまく様々な現象にみずから疑問を持ち、事実をもとに自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や看護に関心があり、責任感や協調性を持って保健医療福祉のために貢献しようとする意欲がある。

<入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表>

入 試 種 別	選 抜 方 法	一般選抜					学校推薦型選抜					
		前期日程			後期日程		県内高校枠			地域貢献人材発掘枠		
		大学入学 共通テスト	面 接	小論文	大学入学 共通テスト	面 接	総合問題	面 接	調査書	総合問題	面 接	活動報告書
素 点		700	200	500	200	200	250	200	50	250	100	100
評 価 の 比 重 (*1)		78	22	56	22	22	50	40	10	56	22	22
評価の観点	《知識・技能》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○			○		○	○		○	○

(*1)各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(4) 看護栄養学部 栄養学科のアドミッション・ポリシー

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、栄養管理の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

社会における様々な課題について多面的に考察し、自分の意見を論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

食と健康に関心があり、責任感や協調性を持って人々の健康福祉のために貢献しようとする意欲がある。

＜入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表＞

入 試 種 別	一般選抜				学校推薦型選抜				
	前期日程		後期日程		県内高校枠		地域貢献人材発掘枠		
	大学入学 共通テスト	面接	大学入学 共通テスト	面接	面接	調査書	面接	活動報告書	
選 抜 方 法									
素 点	700	100	800	200	200	100	200	100	
評 価 の 比 重 (*1)	88	13	80	20	67	33	67	33	
評価の観点	《知識・技能》	○		○		○	○	○	
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○		○	○	○	○	○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合(%)。小数点以下を四捨五入しており、合計が100にならない場合がある。

3 入試区分・種別、募集人員

- 入試区分は、「一般選抜」、「学校推薦型選抜」、「外国人留学生選抜」とする。
- 「一般選抜」は「分離・分割方式」(前期日程・後期日程)により行う。
- 学校推薦型選抜は、「県内高校枠」及び「地域貢献人材発掘枠」とする。「県内高校枠」と「地域貢献人材発掘枠」との併願は認めない。
- 各入試種別の募集人員は以下のとおりとする。

学部	学科	入学定員	募集人員				
			一般選抜		学校推薦型選抜		外国人留学生選抜
			前期日程	後期日程	県内高校枠	地域貢献人材発掘枠	
改組検討中		未定	未定	未定	未定	未定	未定
社会福祉	社会福祉	103	46	8	29	20	若干名
看護栄養	看護	55	23	5	22	5	
	栄養	42	20	2	12	8	

4 入学者選抜方法等

【一般選抜】

全学科共通事項

- 各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
- 調査書の記載内容は、面接の参考として利用する。
- 現行の教育課程(平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した入学志願者に対しては、各学科の指定する教科の選択の範囲内において経過措置科目での受験を認める。

学科別事項

(1) 国際文化学部

2025年度の改組を検討中。詳細が決まり次第公表予定。

(2) 社会福祉学部 社会福祉学科

《前期日程》

大学入学 共通テストの 教科・科目 [3教科3科目]	教科	科目		配点	
	国語	「国語」	必須	200	600
地理歴史・ 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合，歴史総合，公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」	選択1科目 (*1)	200 (*2)		
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」				
理科	「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
情報	「情報Ⅰ」				
外国語	「英語」	必須	200 (*3)		
個別学力 検査等	・小論文			100	500
	・面接「集団面接」			400	
評価基準	【小論文】 社会福祉学科で学ぶために必要な理解力・論理的思考・文章表現力等を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

大学入学 共通テストの 教科・科目 [3教科3科目]	教科	科目		配点	
	国語	「国語」	必須	200	600
地理歴史・ 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合，歴史総合，公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」	選択1科目 (*1)	200 (*2)		
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」				
理科	「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
情報	「情報Ⅰ」				
外国語	「英語」	必須	200 (*3)		
個別学力 検査等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」			500	
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語ることができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

- (*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超過して受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。ただし、次の①②のとおりとする。
 - ①地理歴史・公民は1教科とみなす。
 - ②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点とする。
- (*2) 大学入学共通テストの選択科目(100点)に2を乗じたものを得点とする。
- (*3) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング(100点)の素点に2を乗じたものを得点とする。

(3) 看護栄養学部 看護学科

《前期日程》

大学入学 共通テストの 教科・科目 [5教科5科目]	教科	科目		配点	
	国語	「国語」	必須	200	700
地理歴史・ 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合，歴史総合，公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100		
数学・情報	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」「情報Ⅰ」	選択 1 科目 (*2)	100		
理科	「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択 1 科目 (*3)	100		
外国語	「英語」	必須	200 (*5)		
個別学力 検査等	・面接「個人面接」			200	
評価基準	【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

大学入学 共通テストの 教科・科目 [4教科4科目]	教科	科目		配点	
	国語	「国語」	必須	100 (*4)	500
数学・情報	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」「情報Ⅰ」	選択 1 科目 (*2)	100		
理科	「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択 1 科目 (*3)	100		
外国語	「英語」	必須	200 (*5)		
個別学力 検査等	・小論文			200	400
	・面接「個人面接」			200	
評価基準	【小論文】 看護の理論や実践を学ぶために必要な基礎的能力（理解力、読解力、論理的思考力、文章表現能力等）を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

- (*1) 地理歴史・公民は1教科とみなす。
地理歴史・公民から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点を、その教科の得点とする。
- (*2) 数学・情報は1教科とみなす。
数学・情報から必要とする科目数を超えて受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。
- (*3) 理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点を、その教科の得点とする。
- (*4) 大学入学共通テストの国語（200点）に1/2を乗じたものを得点とする。
- (*5) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に2を乗じたものを得点とする。

(4)看護栄養学部 栄養学科
《前期日程》

大学入学 共通テストの 教科・科目 [5教科5科目]	教科	科目		配点	
	国語	「国語」	必須	200	700
地理歴史・ 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合，歴史総合，公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100		
数学・情報	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」「情報Ⅰ」	選択 1 科目 (*2)	100		
理科	「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択 1 科目 (*3)	100		
外国語	「英語」	必須	200 (*5)		
個別学力 検査等	・面接 「集団面接」				100
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び勉学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

大学入学 共通テストの 教科・科目 [5教科5科目]	教科	科目		配点	
	国語	「国語」	必須	200	800
地理歴史・ 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合，歴史総合，公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100		
数学・情報	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」「情報Ⅰ」	選択 1 科目 (*2)	150 (*4)		
理科	「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択 1 科目 (*3)	150 (*4)		
外国語	「英語」	必須	200 (*5)		
個別学力 検査等	・面接 「集団面接」				200
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び健康科学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点が高い者を上位とする。				

- (*1) 地理歴史・公民は1教科とみなす。
地理歴史・公民から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点を、その教科の得点とする。
- (*2) 数学・情報は1教科とみなす。
数学・情報から必要とする科目数を超えて受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。
- (*3) 理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点を、その教科の得点とする。
- (*4) 大学入学共通テストの選択科目(100点)に3/2を乗じたものを得点とする。
- (*5) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング(100点)の素点に2を乗じたものを得点とする。

【学校推薦型選抜】

I 県内高校枠

全学科共通事項

- 県内高校枠は、山口県内に所在地のある高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を試験実施年度の3月に卒業(修了)見込みの者を対象とする。
- 各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
- 調査書、推薦書及び志望理由書については、面接の参考として利用する。

学科別事項

(1) 国際文化学部

2025年度の改組を検討中。詳細が決まり次第公表予定。

(2) 社会福祉学部 社会福祉学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2025年3月に卒業（修了）見込みの者 2 志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属又は出身学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」	200	250
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合否判定基準	面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(3) 看護栄養学部 看護学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2025年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 看護学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・総合問題（国語、英語） ・面接「個人面接」	250 200	500
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評価基準	【総合問題】 看護学科で学ぶための必要な学力として、国語（小論文を含み、古文・漢文を除く）の基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力並びに英語の基礎的な学力、読解力等をみる問題を出題し、点数化（国語150点、英語100点）して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合否判定基準	総合問題及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(4)看護栄養学部 栄養学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2025年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者 4 栄養学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」	200	300
試験科目以外の評価の対象となる事項	・調査書（全体の学習成績の状況）	100	
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、態度、社会性及び協調性に注目し、栄養学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と健康への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、理解力、思考力、判断力、表現力及び積極性を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
可否判定基準	面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

その他

合格者には、高校での自己の学修の到達程度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを推奨する。ただし、その結果によって合格を取り消すことはない。

また、入学前教育として、合格者を対象に、e-learningによる英語の入学前学習を行う。詳細は合格発表後に合格者に案内する。

II 地域貢献人材発掘枠

全学科共通事項

- 地域貢献人材発掘枠は、全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を受験年度の3月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。将来、地域の活力創出や健康づくりに貢献できるリーダーとして、活躍が期待される人材の発掘を目的とする。そのために、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等の過程、成果及び展望を積極的に評価する。
- 各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
- 調査書、推薦書及び活動報告書については、面接の参考として利用する。

学科別事項**(1) 国際文化学部****2025年度の改組を検討中。詳細が決まり次第公表予定。****(2) 社会福祉学部 社会福祉学科**

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2025年3月に卒業（修了）見込みの者 2 志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属又は出身学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」	200	300
試験科目以外の評価の対象となる事項	・活動報告書(*1)	100	
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心や入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合否判定基準	面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(3) 看護栄養学部 看護学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2025年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 看護学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・総合問題（国語、英語）	250	450
	・面接「個人面接」	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	・活動報告書(*1)	100	
評価基準	【総合問題】 看護学科で学ぶための必要な学力として、国語（小論文を含み、古文・漢文を除く）の基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力並びに英語の基礎的な学力、読解力等をみる問題を出題し、点数化（国語150点、英語100点）して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合否判定基準	総合問題及び面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(4)看護栄養学部 栄養学科

出願要件	次の1～6の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2025年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 物理、化学、生物、地学のうち2科目を履修している者 4 調査書の理科の「教科の学習成績の状況」が4.0以上の者 5 栄養学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」	200	300
試験科目以外の評価の対象となる事項	・活動報告書(*1)	100	
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、態度、社会性及び協調性に注目し、栄養学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と健康への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、理解力、思考力、判断力、表現力及び積極性を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合否判定基準	面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点と同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

その他

合格者には、高校での自己の学修の到達程度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを推奨する。ただし、その結果によって合格を取り消すことはない。

また、入学前教育として、合格者を対象に、e-learningによる英語の入学前学習を行う。詳細は合格発表後に合格者に案内する。